

「第74回優良公民館表彰」及び「令和3年度『家庭教育支援チーム』の活動の推進に係る文部科学大臣表彰」の表彰式が行われます！

文部科学省では、全国の公民館及び「家庭教育支援チーム」(※)の活動のうち、特に事業内容・方法等が他の模範と認められるものに対して、文部科学大臣表彰を行っています。

このたび、これらの表彰式が下記のとおり行われますので、ぜひ貴紙誌面・局において御取材賜りますようお願いいたします。

なお、表彰式はいずれもオンラインで行われますので、被表彰団体を取材される場合は、事前に各団体にご連絡いただき、下記日時に直接各団体所在地にお越しく下さい。

また、「第74回優良公民館表彰」については、令和3年12月7日付けで資料提供済みですので申し添えます。

記

1 日時及び会場

(1) 日時 令和4年2月4日(金) 10:50~11:30

(2) 場所

文部科学省東館3階第一講堂(東京都千代田区霞が関 3-2-2)を本会場とし、**オンライン配信を組み合わせて実施**いたします。

① 第74回優良公民館表彰

被表彰者：笠間市立笠間公民館

(住所：茨城県笠間市石井 2068-1、電話：0296-72-2100、担当：関)

② 令和3年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰

被表彰者：五霞町家庭教育支援チーム

(住所：茨城県猿島郡五霞町小福田 148-1、電話：0280-84-1460、担当：高橋)

(※)家庭教育支援チーム：子育て経験者や教員OBなど地域の様々な人材や専門家で構成され、訪問型家庭教育支援や保護者への学びの場の提供などを行う任意の組織。文部科学省では登録制度や補助事業により家庭教育支援チームの取組を推進している。

今年度県内では25チームが登録済み。

2 表彰の概要

① 第74回優良公民館表彰

○表彰の趣旨

文部科学省では、全国の公民館等のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを優良公民館として表彰しています。

このたび、全国59館の優良公民館の中から、笠間市立笠間公民館が「最優秀館」に選ばれました。

○被表彰者：笠間市立笠間公民館（館長：堀内 恵美子）

【キャッチフレーズ ～人生 100 年時代～「かさま志民」への学びの場を】

令和 2 年度より、「人生 100 年時代」をキーワードに従来の公民館講座を「かさま志民^{しみん}大学」としてリニューアル。各講座に SDGs の目標を設定するなど、市民が SDGs への理解を深める取組を推進している。また、コロナ禍においても、市民の学びを継続するため、オンライン配信によりコンテンツの充実を図っている。

さらに、小学生を対象とした「かさま子ども大学」では、小学 4～6 年生を対象に食品ロスやロボットプログラミングなどが学べる講座を開設し好評を得ている。

② 令和 3 年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰

○表彰の趣旨

文部科学省では、地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展及び認知度の向上に資するため、特色ある優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」に対し、その功績をたたえ表彰しています。

このたび、各都道府県から推薦した結果、全国で 31 のチームが選ばれました。

○被表彰者：五霞町家庭教育支援チーム（チーム代表：猪瀬 英子）

訪問型家庭教育支援を、次年度小学校に入学する子をもつ全ての家庭や、小学校に入学後に継続支援を希望する家庭及び継続支援を必要と判断した家庭に対して実施し、小学校の入学に向けての相談対応や情報提供及び保護者の関わり等資料提供をしている。

ブックスタート事業を NPO や保健福祉部局と連携して、集団健診で実施し、五霞町に誕生した全ての赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせや絵本のプレゼント、温かなメッセージを届けている。

訪問型家庭教育支援やブックスタート事業を学校や幼児教育施設、保健福祉部局と組織的に連携し継続して実施していくことで保護者の不安や悩みを軽減し、虐待等の未然防止も含め、五霞町の子どもたちの健全育成を図っている。

【本資料についてのお問い合わせ先】

① 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課 担当 川上和正

TEL 029-301-5318

笠間市立笠間公民館 担当 関 真実子

TEL 0296-72-2100

② 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課 担当 富倉由紀子

TEL 029-301-5132

五霞町教育委員会生涯学習グループ 担当 高橋 直之

TEL 0280-84-1460